

協会創立60周年記念講演会

GDP世界第2位の経済大国、中国。1位のアメリカを追い越す勢いがある。しかし強い国になったが脆弱さがみられる。中国が抱える環境などの諸問題に日本はまだ協力できることがあるのではないかと。岐阜県日中友好協会は、協会創立60周年を記念して講演会を開催します。中国報道に長年携わり今も中国を冷静な目で見ると同志社大学教授でジャーナリストの加藤千洋氏（元朝日新聞編集委員）を講師に招いて素顔の中国を語っていただきます。入場無料。

日時

11月28日（土）13：30～15：00

会場

朝日大学（瑞穂市穂積1851番地）513講義室

※ 駐車場の台数が少ないですので、公共交通機関等でおいで下さい。

講師

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授
元朝日新聞編集委員、元報道ステーションコメンテーター

加藤 千洋 氏

演題

大国、中国のジレンマ
～その弱みと強み～



【講師プロフィール】

1947年9月、東京生まれ。72年3月、東京外国語大学卒。同年朝日新聞社に入り、論説委員、外報部長などを経て2010年春まで編集委員。この間に北京、バンコク、ワシントンなどに駐在。04年4月から4年半、「報道ステーション」（テレビ朝日系）でコメンテーターを担当。BS朝日「にほん風景遺産」では4年半、風景案内人を担当。

80年代初めに中国・遼寧大学に留学し、90年代なかばに米ジョージタウン大学SAIS客員研究員を務める。一連の中国報道で1999年度ボーン上田記念国際記者賞を受賞。

（主な著書）

著書：『中国大陸をゆく』（共著、岩波新書）、『北京&東京 報道をコラムで』（朝日新聞社）、『胡同の記憶 北京夢華録』（平凡社、のち岩波現代文庫）、『中国食紀行』（小学館）

訳書：『鄧小平 政治的伝記』（朝日新聞社、のちに岩波現代文庫）、『勁雨煦風 唐家璇外交回顧録』（監訳、岩波書店）、『私は中国の指導者の通訳だったー中日外交 最後の証言』（共訳、岩波書店）

【アクセス】

JR 穂積駅よりスクールバス（約5分）

◆穂積駅発
→朝日大学行
12：45

13：08
◆朝日大学発
→穂積駅行
15：36

16：02



【主催】岐阜県日本中国友好協会

【共催】朝日大学

【問い合わせ先】岐阜県日中友好協会 事務局 TEL/FAX：058-240-0621